

Q. 「ヘルプマーク」「ヘルプカード」を導入すべきではないか

A. 新年度から作成し導入していく



ここを聞きました

- 障害者支援について
- 教育保育施策の充実について
- オリジナル婚姻届の作成とウェルカムボードの設置について

障害者支援について

川上 外見ではわかりにくい障害を抱える方や、妊娠初期の女性の方が周囲の人から配慮や支援を受けやすくするために所持する「ヘルプマーク」「ヘルプカード」を導入していくべきではないか。

健康福祉部長 新年度から作成して希望者に配布していく。

市民への周知を進め、支援を受ける人にもわかりやすく説明していきたい。



ヘルプマーク
(本体は赤地に白抜き)

教育保育施策の充実について

川上 高梁保育園の老朽化にどのように対応していくのか。

また、高梁幼稚園と高梁南幼稚園の再編はどうするのか。

市長 新年度から、高梁市街地の認定こども園の設置に向けて、準備していきたい。



Q. 通学路の通学児童、生徒のために市として街路灯整備はできないか

A. 一つ一つの事業に対してしっかり調査、協議をしながら市の責任を果たしてまいりたい



ここを聞きました

- 児童、生徒の安全確保
- 県南部都市への交通利便性の向上
- 地域の伝統文化継承のための活動の拡大
- 子育て家庭の負担軽減

通学路の街路灯整備について

伊藤 高梁市PTA連合会要望書にあるが、通学路の街路灯整備が不十分で暗い場所が多くある。

道路管理者や当該町内会というのではなく、市が子供を守るという強い発信はできないのか。

教育長 町内会や県など関係機関との連絡を密にし、一つ一つの事案ごとに対して調査、協議等を行う。

学校管理者として、児童・生徒が安全に通学できるよう、市の責任として安全対策に努めていきたい。

県南部都市への交通利便性の向上について

伊藤 市内からJRを利用して通学、通勤する高校生、大学生、社会人に対して、特急料金の段階的

な一部・全部の補助やJRへ通勤快速の要望は考えられないか。

市長 補助は考えていないが、通学、通勤の利便性を向上させることについて、対応も必要と考えている。

地域の伝統文化の継承について

伊藤 子供たちに郷土愛、ふるさとを情操するために、地域の偉人、文化、芸能を児童へ伝えることが必要と思うがどうか。

教育長 全市的にどういふものが残っていて、何を残すのか検討し、計画的な取り組みを考えたい。

Q. 防災ラジオ導入に当たって、市民負担はどうか

A. 1台目については登録料も含め無償貸与



ここを聞きました

- 本市農産物の地産地消の推進について
- 防災ラジオ導入に当たって
- 水道料金について

防災ラジオ導入に当たって

平松 屋外放送塔設備は存続使用するとともに、全市に拡充すべきではないか。

総務部長 本市のような中山間地域は地理的条件もあるし、多額の費用もかかり廃止の方向で進めていく。

本市農業の地産地消について

平松 地産地消を一層推進していくためにJAや生産団体を含めた推進組織を立ち上げよう。

産業経済部長 6次産業化が進んでおり、地産地消が進んでいると推測され推進組織は考えていない。

平松 地産地消の推進のため、組織の立ち上げと運営及び計画づくりに必要な予算を計上し、推進す

水道料金について

平松 お年寄りや学生たちで使用水道量が5トン以下の世帯は料金軽減すべきではないか。

産業経済部長 施設・固定費用がかかり現在のところ考えていない。

Q. 県は病床数の削減を計画しているが

A. 医療の質が病院完結型から地域完結型に変わっていく中、やむを得ない



ここを聞きました

- 高梁地区における地域包括ケアシステムと地域医療構想について
- 高梁市図書館について
- 平成29年度予算概要について

「やまぼうし」の現状について

小林 晴れやかネットの進化版である「やまぼうし」の現状はどうか。

政策監 岡山県が推奨している晴れやかネット(医療ネットワーク)の高梁独自の拡張版を「やまぼうし」と呼び、63施設が加入している。今後も未加入の機関に理解してもらい加入率を上げたい。

県の保険医療計画について

小林 県は病床数の削減を計画しているが、市はどう受け止めているのか。

政策監 県の計画では、高梁・新見保険医療圏の必要病床は現在の846床だが、高齢人口の減少や急性期や回復期などの圏域外への流出の状況を考慮し、2025年

には、マイナス380床の466床になると推計している。

現状高梁・新見圏域では、高度急性期の患者の8割、急性期では半数、回復期では4割が域外に出ている。

医療の質が病院完結型から地域完結型に変わっていくなか、必要病床数の減少はやむを得ないと考える。

小林 将来の高梁市の必要病床数はどう考えるのか。

政策監 総合戦略で人口減少を抑制する目標を立てて将来人口を推計し、将来の医療・介護の体制整備を図り、適正数を出して行きたい。